

道の駅草津リノベーションの進捗状況について

1. 経緯

道の駅草津は、都市と農村との地域間交流や道路利用者の休憩機能などを併せ持った施設として、平成15年度に供用を開始し、ピーク時（平成18年度）には約33万人の利用者があったが、近年では約20万人前後まで減少しています。

また、供用開始後20年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、令和4年2月に「道の駅草津リノベーション構想」を策定し、道の駅草津の機能や魅力の向上等を通して、本市の農業振興を図るとともに、地方創生の拠点形成を目指しています。

今年度は、令和4年度に判明したリノベーションの推進に係る状況の変化を踏まえ、現在、策定を進めている「道の駅草津リノベーション基本計画」において、道の駅に必要な機能や規模等のニーズ調査を行い、道の駅草津エリア全体のあり方、配置、ゾーニング案について、審議をお願いするものです。

2. ポイント

道の駅草津リノベーション構想に掲げる再整備コンセプト「農業振興の拠点として、すべての人に愛され続ける道の駅を」を実現するため、道の駅草津エリア全体のあり方、配置、ゾーニング案を検討していく必要があります。

<再整備コンセプト>

『農業振興の拠点としてすべての人に愛され続ける道の駅』
～ にぎわいの創出による一体的な地方創生拠点の形成 ～

3. その他必要事項

道の駅草津エリア全体のあり方、配置、ゾーニング案を検討するにあたっては、滋賀県道路整備アクションプログラム2023に基づき、県が進めている駐車場の拡大や、基本計画において実施した事業者および来駅者アンケートに基づくニーズ調査結果との整合を図る必要があります。

4. 実施スケジュール

令和6年3月27日 部長会議

令和6年4月以降 産建委員会協議会

道の駅草津リノベーション基本設計（土木・建築）